



住友重機械グループ

CSR REPORT 2017

Contents

- トップメッセージ ————— 2
- CSRとは/SDGsとは ————— 4
- 商品・サービス ————— 6
- 環境 ————— 8
- 社会 ————— 10
- 人材活用 ————— 12
- コーポレート・ガバナンス — 14
- CSRに参加するには? ——— 16



住友重機械グループは、「住友の事業精神」と「経営理念」に立脚したCSRを進めています。社会との関係性や環境保全だけでなく、「商品・サービス」を通じた社会課題の解決と企業価値向上に努め、持続可能な社会を実現していきます。

別川社長メッセージ

「中期経営計画2019」の基本方針として、5つの基本的な考え方を決めました。それらはどれも「中期経営計画2019」の達成のために不可欠な考え方です。『CSRの積極的な推進』はこの考え方のひとつであり、この3年間のさまざまな活動に深く関わるものです。

住友重機械グループを含めた現代の企業は、社会の構成員として社会課題の解決に貢献することが求められています。当社グループでは、特に本業である商品やサービスの提供を通じて、社会課題を解決することに注力していきます。バイオマスボイラの発電設備や水処理プラント、医療機器などの商品の提供に加え、省エネや自動化・安全性向上などの商品機能の追求やコンポーネント供給を通じて顧客の商品・サービスを支えることも社会課題の解決につながっています。

またダイバーシティの積極推進により女性活躍推進を目指すことは、自社の競争力強化だけでなく、より多くの女性が社会貢献するという社会課題の解決につながります。

CSRは決して新しい課題ではありません。それぞれの事業部門・職場で行われている日々の事業活動のCSRにおける意味を明確にし、それが社会課題の解決にどう貢献しているかを再発見することです。そしてその貢献を、当社グループの全体の動きとして社会へ積極的に発信していくことが重要です。

自分自身の業務をCSRの観点で見つめ直すことが、社会に貢献している誇りを実感でき、皆さん自身がいきいきと働ける職場作りにつながります。グループ社員の全員がCSRを理解・納得し、それぞれの事業を通して社会課題の解決に寄与することが、社員一人一人の成長と住友重機械グループ全体の企業価値向上につながるのです。



代表取締役社長
別川 俊介

経営理念

企業使命

一流の商品とサービスを世界に提供し続ける機械メーカーを目指します。誠実を旨とし、あらゆるステークホルダーから高い評価と信頼を得て、社会に貢献します。

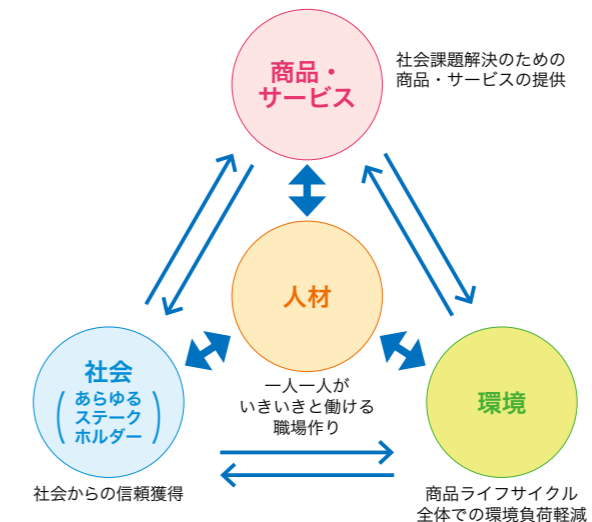
私たちの価値観

- 顧客第一：顧客価値を第一に考え優れた商品とサービスを提供します。
- 変化への挑戦：現状に甘んずることなく変化に挑戦し続けます。
- 技術重視：独自の技術を磨き社会の発展に貢献します。
- 人間尊重：互いを尊重し学び合い成長する組織風土を育みます。

CSR長期目標

- 住友重機械グループは、持続可能な社会の実現に向けて、経済的、技術的発展に寄与する商品とサービスを提供します。
- 住友重機械グループは、商品ライフサイクル全体での環境負荷軽減に努めるとともに、当社の企業活動に関わるすべての人の安全、安心と健康を守り、一人一人がいきいきと働ける職場を作ります。

4つの重点分野



	重点分野	目的
CSV*	商品・サービス	社会課題解決のための商品・サービスの提供
従来のCSR	環境“E”	商品ライフサイクル全体での環境負荷軽減
	社会“S”	社会からの信頼獲得
ガバナンス“G”	人材	一人一人がいきいきと働ける職場作り
		社会からの信頼獲得

- ✓ 事業を通じた全員参加の活動
- ✓ 活動の見える化、わかりやすさ
- ✓ 社会課題解決に寄与
- ✓ 社員の成長と企業価値の向上

* CSV (Creating Shared Value) とは「共通価値の創造」の意味。企業と社会が協力して、共通の価値を創造できる状態のこと。

CSRとは

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、日本では「企業の社会的責任」と訳されることが多い言葉です。責任というと重たく義務感を伴うようなものを感じられますが、「企業が社会で信頼を得るための行動」を意味しています。住友重機械グループでは、社会からの信頼を獲得するため、CSRに積極的に取り組んでいます。

①CSRの背景

これまで企業活動に対する社会からの評価は、主に収益や売上規模がその対象となっていました。しかし近年、ダイバーシティの推進や心身共に健康な職場作りを進める健康経営、サステナビリティ（継続的成長）社会に貢献する商品やサービスの提供、クリーン調達など、企業を評価する観点が増えてきました。また企業に対する評価者も、従来の顧客や投資家だけではなく、従業員や地域社会、就職を希望する学生までその範囲は広がっています。今やCSRの考え方には、企業の存在自体が成立しない時代になったといえます。

②住友重機械グループのCSR

住友重機械グループのCSRは、社会貢献活動自体の実施を目的とするものではなく、経営理念を背景として、事業活動や商品・サービスを通じて社会に貢献し、同時にそれを社員の成長や企業価値向上の機会とすることを意図しています。今までCSRにつながるとは意識していなかったものでも、改めて外部の社会の観点で考えると立派なCSRに該当するものも少なくありません。さまざまな形で、皆さんの日々の業務がCSRとして社会に貢献しているかもしれません。

※ESG投資とは

ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせたものです。これまでの企業への投資は、主に財務情報（キャッシュフローや利益率など）に着目して行われてきました。ESG投資ではこのような財務情報に加えて、環境・社会・ガバナンスなどの非財務情報を材料として投資を判断しています。CSRは、投資家からの評価を向上させることにもつながります。

SDGs（Sustainable Development Goals）とは

経済、社会および環境の面で、現代社会は大きな課題に直面しています。このような課題に対処するため「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2015年9月に国連に加盟する193カ国すべてが合意して採択されました。世界的な優先課題や世界のあるべき姿を明らかにするため、2030年までに達成を目指す17の目標が設定されています。この17の目標は、持続可能な開発を行うための行動目標であり、それぞれ象徴するアイコンと具体的な目標で表現されています。



これらのゴールは国連で採択された目標ですが、決して私たちの生活から遠いものではありません。身近な活動がそれぞれの目標につながっています。例えば、全社的な活動となっているダイバーシティ推進やワークライフバランスへの取り組みは、「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」「目標8 働きがいも経済成長も」「目標10 人や国の不平等をなくそう」につながるのです。

活動報告

商品・サービス *our businesses*

「社会課題解決のための商品・サービスの提供」を目的として、さまざまな部門での事業活動を通じて社会への貢献を果たしています。商品企画や開発の段階から顧客価値を徹底的に追求し、顧客満足度の向上に取り組んでいます。

社会課題解決のための商品・サービスの提供

住友重機械グループの商品・サービスが社会に存在を認められるためには、社会の具体的課題を解決していることが必要です。私たちが扱っている商品・サービスがどのように社会の課題を解決しているかを社員との対話を通じて「社会貢献」の視点で問い直しています。

CFB発電システム

「石炭以外に、利用されない樹木（間伐材）や椰子殻等の多様な燃料を用い、高い効率で発電し、CO₂発生を削減しています」「新興国へ環境に配慮したインフラ設備を提供しています」…私たちの仕事が、地球温暖化対策、森林保全、エネルギー供給を通じた他国の産業と技術革新の基盤作りに役立っています。



※循環流動層（CFB）ボイラを利用した発電システム。さまざまな燃料を効率よく燃焼でき、バイオマスなど再生可能エネルギーにも対応できます。

下水処理設備

「87万人分の生活水をきれいにしています」「設備の省エネを通して、5,500世帯相当の電力使用量を削減しています」…私たちの仕事が、快適な生活と大規模な省エネに役立っています。



運搬荷役機械

「省エネだけでなく、自動化で労働人口の減少を補う仕事をしています」「港湾での船舶からの荷降ろしを効率化することで、私たちの豊かな生活を支えています」…私たちの仕事が、人口減少問題の解決や豊かな生活を支えることに役立っています。



極低温冷凍機／クライオポンプ

「私たちの極低温冷凍機を使用したMRIは、年間約8,700万人の検査をしています」「クライオポンプは、スマートフォン用チップの生産工程では欠かすことができません」…私たちの仕事が、人々の健康維持や豊かで便利な生活のために役立っています。



製品品質向上

住友重機械グループでは、多様な商品・サービスを通して、お客様に価値を提供し続けることができるように、品質方針を定めて商品・サービスの品質を作り込んでいます。「中期経営計画2019」では、お客様視点での品質指標を各事業部門で設定し改善に努めています。

住友重機械グループ品質方針

品質理念

グローバルで認められる世界基準品質をたゆむことなく追求し続け、お客様が価値を実感できる製品・サービスを一貫して提供し続けます。

品質方針

顧客視点：顧客視点で本来あるべきレベルの品質を念頭に目標を定めます。

継続的進化：品質システムを継続的に進化させ続け、プロセス思考で品質を作り込みます。

全員参加：品質に関わる一人一人が目標を持ち、全員で品質と正面から向き合います。

納期遵守・短縮、事業継続計画

顧客が求めるものを求めるときに提供することが不可欠であるという考えにのっとり、生産技術センター主導での「製造リードタイム削減目標の設定と活動」を行っています。事業の内容に応じてリードタイムの定義をそれぞれ検討し、活動の焦点を明確にしています。

また納期遵守だけでなく、供給責任という社会的役割を考慮し、事業継続計画についての対応も進めています。

※事業継続計画（Business Continuity Plan：BCP）

災害や事故の発生に伴って通常の事業活動が中断した場合に、可能な限り短い期間で再開できるように事前に準備する計画。

活動報告

環境 environment

地球環境保全や循環型経済活動が企業の社会的責務であるという認識の下に、環境経営を推進しています。特に、商品ライフサイクル全体での環境負荷軽減に着目し、CO₂排出量削減により一層注力します。

住友重機械グループ環境方針

環境理念

住友重機械グループは、「住友の事業精神」を堅持し、持続可能な社会の実現に向けて、すべての事業活動において地球環境保全に誠実に取り組みます。

環境方針

住友重機械グループは、環境理念に基づき以下の項目に積極的・能動的に取り組めます。

- 環境汚染の予防
- 低炭素社会への貢献
- 循環型社会の実現
- 生物多様性の保全
- 法令の遵守
- 環境管理体制の強化と継続的な改善

環境方針の変遷

1992年に地球環境委員会を設置し、地域での環境保全とコンプライアンスを推進してきました。また1999年11月には、グループ全体の活動における基本方針を明確にするため「住友重機械グループ環境方針」を制定し、海外を含めたグループ全体での環境マネジメントを展開しています。

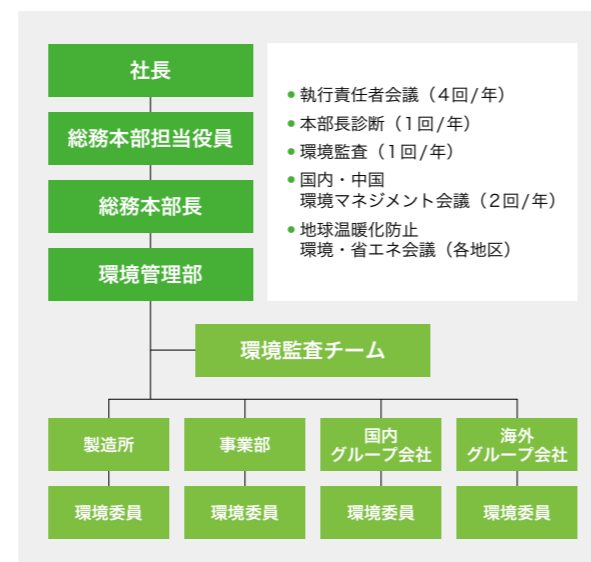
重点課題

住友重機械グループでは、環境方針を達成するために、2005年度から3年ごとに具体的な活動目標を定めた「環境中期計画」を策定し、環境経営の向上に取り組んでいます。

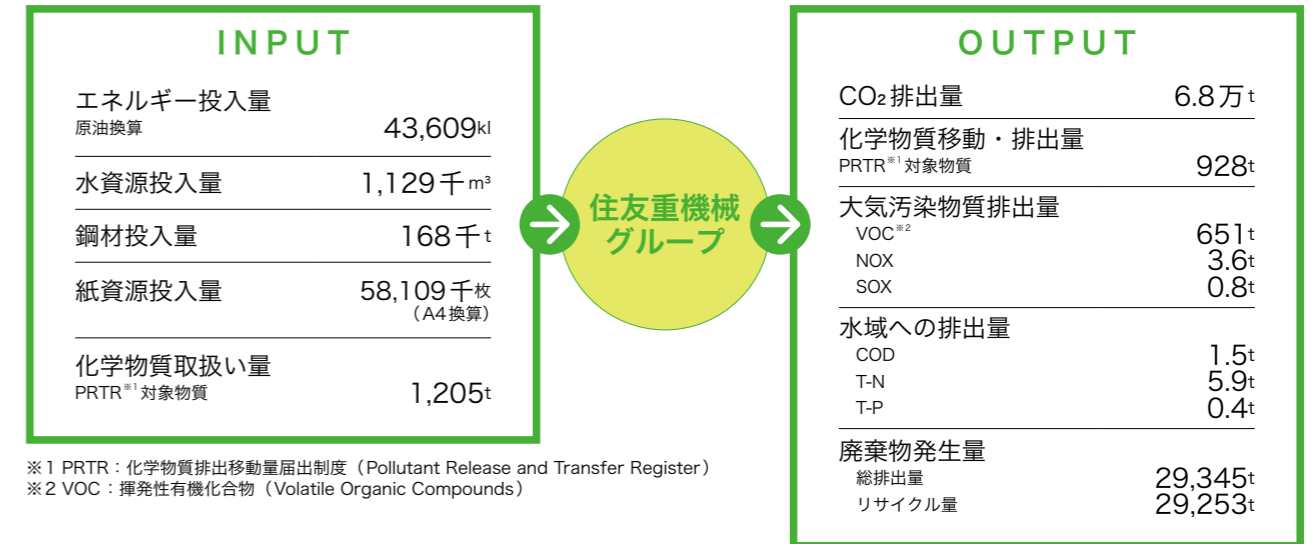
第5次（2017～19年度）環境中期計画では以下の4点をグローバルでの重点課題とし、活動を推進します。

- ① 環境リスクマネジメントの強化
- ② 商品ライフサイクルにおけるCO₂排出量の削減
- ③ 事業活動に伴う環境負荷軽減
- ④ 生物多様性の保全

環境マネジメント体制



2016年度の環境負荷の全体像（住友重機械グループ国内）



活動事例

田無製造所「発想の森」

田無製造所では敷地面積の約30%を占める武蔵野の森を保存しています。40種類以上の樹木が4,500本以上あり、170本近くが西東京市の保存樹木に指定されています。

森の一部は「発想の森」と名付けて一般に開放して市民のやすらぎの場所となっているとともに、地域の防災拠点や職業訓練の場所の提供、生物多様性に関する学術研究対象などの機能を果たしています。



どんぐりプロジェクト

「発想の森」で育まれた多くのどんぐりを活用し、住友重機械グループ全体の緑化に役立てようという活動が「どんぐりプロジェクト」です。このプロジェクトでは「発想の森」で拾い集めたどんぐりをタネとして活用し、他の事業所での緑化活動に生かすものです。幾つかの芽は着実に成長して他の事業所での緑化に貢献しています。



活動報告

社会 society

事業活動に必要な資材のクリーン調達の推進や地域への支援・貢献を通じて、社会からの信頼獲得に努めています。また、関係取引先と連携して調達ガイドライン、各種法令および社会規範などの遵守に取り組むことで、互いの企業価値向上に取り組んでいます。

クリーン調達の推進

クリーン調達の実現は、住友重機械グループがその商品・サービスを通じて社会課題の解決に寄与する上で重要な要素です。このため、以下の取り組みを順次展開していきます。

① CSR 調達ガイドラインの制定・公開

SHIグループがお取引先様にも推進していただきたい項目を定め、CSR調達ガイドラインを制定しました。CSR調達ガイドラインは今後住友重機械グループのホームページでも公開する予定です。

CSR調達ガイドラインの6つの項目

- 人権・労働・安全衛生
- 商品競争力とお客様満足度の向上
- 公平・公正な競争と取引
- 環境への配慮
- 法令・社会倫理の遵守
- 情報開示

※紛争鉱物に対する当社グループの基本方針

コンゴ民主共和国（DRC）では、反政府武装組織が地域住民に強制労働でスズ・タングステン・タンタルおよび金（以下『紛争鉱物』）を採掘させ、活動資金源として利用しています。さらに住民に対する組織的暴力が、国際的な問題として取り上げられています。

住友重機械グループは、紛争鉱物の調達に加担しないことを基本方針として定めています。これは既に当社ホームページでも公表しています。

②お取引先様への当社CSR・CSR調達ガイドライン説明会

各事業部門で開催している取引先説明会等の機会を利用して、当社CSRと調達CSRガイドラインの説明会を順次実施していきます。

地域への支援・貢献

住友重機械グループでは、関係会社も含めて製造所や営業所などの拠点を広く展開しています。これらの各拠点では、それぞれの地域での支援・貢献活動を行っています。地域の清掃・献血への協力や自治体との防災協定の締結、市民祭り・地域運動会などの行事への参加や工場見学受け入れなどがその活動です。

人々の生活に貢献する商品の提供による社会貢献だけでなく、その製品を生産する工場立地の地域の皆さまのご理解とご支援を頂くことで、当社グループの社会貢献が実のあるものになると考えています。

①地域の清掃活動

新居浜工場のような工場周辺だけでなく、大崎に立地する本社部門でも地域の清掃活動に参加しています。



新居浜清掃活動



大崎清掃活動

②教育支援活動

住友重機械では、文部科学省が中心となっている海外留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」にも協賛し、将来の国際社会で活躍する人材育成に協力しています。



住友重機械エンパイロメントでは、南足柄市で行われている地域のイベントに参加し小学生への環境教育を継続しています。

住友建機は社会貢献活動として「住友建機少年野球教室」を開催しています。2004年に青少年の育成と地域の活性化を目的に始まり、既に60回近い回数を重ねています。

住友重機械マリンエンジニアリングでは、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（B&G財団）が主催する「B&G東京湾海洋体験アカデミー」に継続的に協力しています。全国から集まった子供たちへ造船所見学や建造中のタンカーへの乗船体験、3次元CADによる設計体験や溶接シミュレーションなどのプログラムを用意しています。

活動報告

人材活用 *human resources*

一人一人がいぎいきと働ける職場作りのため、災害ゼロの実現や心身共に健康な職場作り、ダイバーシティ推進活動を進めています。ダイバーシティ推進活動では、女性活躍推進とワークライフバランス推進に注力しています。

ダイバーシティ推進

住友重機械グループの「企業使命」のひとつである「一流の商品とサービスを世界に提供し続ける機械メーカーを目指します」を実現し継続していくためには、多様な人材がそれぞれの個性を生かしながら活躍できる組織の土壌が不可欠だと考えています。このような土壌を形作るため、2016年度を「ダイバーシティ推進元年」と位置付けました。まずは女性の活躍を重要な経営施策のひとつとし、経営トップが率先して推進しています。具体的な活動としては、2016年度はグループ各社の管理職向けにダイバーシティ推進施策の説明会や女性社員向けのワークショップ、さらには女性の部下を持つ上司向けに研修会を開催し、「無意識のバイアス」や「女性部下育成のポイント」を学ぶ等、社員意識の変革や組織風土の改革に取り組まれました。また、中長期の数値目標として、2020年4月をターゲットに2015年4月比で女性社員比率は1.5倍、女性管理職数を倍増、新規学卒者の女性採用比率は20%を掲げて取り組みを進めており、2016年度の新規学卒者の採用では女性比率が20%を超えました。

一方、ワークライフバランス推進については、事業部門ごとに年度の目標を設定し、長時間労働の削減や年次有給休暇の取得促進に努めています。具体的には、2019年度に年間総労働時間1,900時間台を達成すべく取り組みを進めています。



グループ経営幹部向け講演会



女性向け説明会&ワークショップ



管理職向け説明会



女性社員を部下に持つ上司向けの研修

安全への取り組み

住友重機械グループでは、安全を「最優先経営課題」と位置付け、安全衛生活動を進めています。現在、安全衛生改革基本計画 第三次実行計画（2017～19年）を策定し、実行しています。

すべてにおいて安全を最優先する企業風土である「安全文化」を構築し、快適な職場の実現を通して働く人の安全・安心と健康を確保することを目指しています。組織と個人が「安全」を最優先する気風や気質を育てていく積極的な取り組みを進め、職場全体で安全意識（モラル）を高める努力を継続的に行っています。

健康経営

近年、従業員の健康保持・増進の取り組みが将来的に企業の収益性などを高める投資であるという考えの下、従業員などの健康管理を経営的な視点から戦略的に高める「健康経営」の活動が目立っています。住友重機械グループでも、経済産業省が中心に進めている「健康経営優良法人認定制度」で設定されている評価項目を早期にクリアできるよう労働衛生活動を推進しています。

「上司と部下のための仕事と育児の両立支援ハンドブック」

子育て支援制度をまとめた冊子「上司と部下のための仕事と育児の両立支援ハンドブック」を発行しました。女性だけでなく上司や周囲の社員も読むことでママ社員がどんな悩みを抱えがちなかを理解できるよう、上司と部下が課題を共有し一緒に考えられるようになっています。



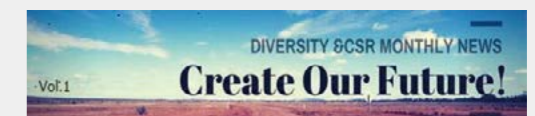
メールマガジン

DIVERSITY & CSR MONTHLY NEWS「Create Our Future！」

人事部ダイバーシティ推進グループとCSR推進室では、メールマガジンを発行しています。

[これまでの掲載記事]

- ・育児・介護等に関する勤務制度の就業規則が改訂されました
- ・マタニティ作業服の貸与を開始いたします
- ・乳がん検診への補助が開始されました
- ・次世代育成支援対策推進の行動目標を設定しました
- ・計画的な年休取得でワークライフバランスの実現を！
- ・外国籍社員に聞く「日本で働く上で困っている事」
- ・CSR自己啓発～住友の事業精神にふれる
- ・社員インタビュー など



CSRに参加するには？

住友重機械グループのCSRは、会社が推進するだけでなく、皆さん一人一人が参加して社会に貢献することも期待しています。

下記のような活動は、皆さんが参加している、もしくは参加できるCSRであるといえます。さまざまな機会を活用し、できることから始めて、社会貢献の輪を広げていきましょう。

○ お客様や社会に価値を提供できる商品やサービスを生み出すこと。

日々の業務に^{しんし}真摯に取り組み、業務品質と納期を守って後工程に送ることも立派な社会貢献です。

○ 個人でできる活動に少しでも協力すること。

自宅にある不用品を寄付する行為も社会貢献です。この「CSRレポート」に折り込まれているチラシの「公益財団法人オイスカ」では、世界の森林保全と子供たちの資源を愛する心を育む活動を進めており、住友重機械グループもオイスカを支援しています。この活動を皆さん個人からもご協力いただくと、会社の支援がより強化されます。

○ 地域の活動に参加すること。

地域の清掃活動や会社での献血、自分の技能や知識を活用した教育活動などへの参加もあります。

本書は再生紙を使用し、
植物油インクで
印刷しています。

個人情報などの取扱注意情報を含みます。一般の資源回収へ出すことや目につきやすい公共のごみ箱への廃棄はしないようご注意ください。